

第24回地方独立行政法人鳥取県産業技術センター評価委員会議事録概要

1 日時 平成25年7月25日(木) 午後1時15分～4時半

2 開催の場所 鳥取県庁 第32会議室(2庁舎4階)

3 出席者 別紙出席者名簿のとおり

4 次第

(1) センターヒアリング

産業技術センターから平成24年度業務実績のヒアリング及び評価委員による質疑応答を行った。

(2) 評価委員会業務、今後のスケジュールについて

今後の評価手順及びスケジュール等について確認を行った。

5 主な意見等

【数値目標について】

○安田委員

目標に対する成果が300%、400%というのは、設定する数値が低いのではないかと。いつまでもその目標値を固持するのは、少し考え物なのではないかと。

●村江産業技術センター理事長

地方独立行政法人化の際に知事から中期目標が出され、それに対する中期計画、年度計画として目標値を入れた結果がたまたま何%ということであり、強調はしていない。

【企業ニーズ等の活用について】

○羽馬委員

企業訪問件数を目標に挙げているが、1年に5、6百件行けば、4、5年で数千件の中身の濃いデータが出てくる。県内のニーズやシーズが埋もれているのではないかと。

●門脇機械素材研究所長

5百件という目標は、県内の製造業が平成19年に1,100社程度あったので、4年間で同じ企業を2回程度まわる計算で2千件とした。他の企業での取組状況を紹介し、三者による共同研究やサポインというところまで発展すればもっといい話になる。

○羽馬委員

県内企業のニーズ等を抽出し、データベースなどの形にすれば、個別に紹介したり、つなぐこともできるのではないかと。

●村江産業技術センター理事長

それは私どものノウハウの中で全部掌握しているので、横のくし刺しで連携しながら、企業を紹介することはできる。

【特許料収入について】

○辻 委員

特許の使用許諾料が今年も5万円ぐらいたが、どのような基準で許諾料をもらうルールなのか。

●山田企画室長

基本的には、県の知的財産の実施許諾の考え方と同様で、製品の売り上げに対して、実施料率は県内企業は1%、県外企業は3%がベースです。その上で、輸送料、梱包費を控除した、実製品の売り上げの中で、製品そのものに対する我々の特許の利用率が関わっています。さらに、共同研究で開発した場合、持ち分に応じて0.5などの掛け率がかかります。

○辻 委員

この5万円のうち、実際にロイヤルティーが入っている件数が4件。実施料が千～2千円のレベルということか。

●村江産業技術センター理事長

100万円売り上げて1%なので、共同出願特許になると、センターに入るのは2分の1か3分の1になります。ただ、いろいろな契約方法があり、一時金を最初にもらうやり方もあります。

○辻 委員

特許の出願目標数が2、3件で、非常に低いと思う。出口となる企業との結びつきがあるという前提で申請し、了承されると思うが、その技術領域の中で、完全に新規性があり、成果が出れば必ず特許に出願できるという確信をした上で研究テーマを実行すれば、必ず特許出願ができると思う。そういうふうに考えれば、研究テーマの数だけ特許出願ができるのではないかと思うが、いかがですか。

●村江産業技術センター理事長

特許の登録になるまで、審査請求にかけるとか結構期間があります。また、特許を前提にした研究テーマの設定は近年になって意識しはじめたので、もう少し時間がかかるという感じがします。

●向井産業技術センター理事

補足ですが、法人設立時に特許出願の目標数値を中期計画で決める際に、独法化前の過去4年間の特許出願数に努力目標を加え数値を設定した経緯があります。

また、研究テーマの中で、いわゆる製造ノウハウとか作業工程に係るものがあり、それを特許に出してしまうと公開情報となり他者に取られ、研究したことが無駄になるということで、研究が全て特許には馴染まないのではないかと、という議論があった。

○辻 委員

評価のための準備資料や評価委員が見学する機会がふえ、独法化以来委員をしているが、非常に良くなっている。見える化が進んでいることを証言できるのは私だけなので、証言しておきたい。

独法化前は特許に観点を置いた活動がされていなかったが、今は意識も変わり、企業のセンスで進められている。最初に出した目標に正直にならなくても、高い目標に取り替えてもいいのではないかと。

【目標管理について】

○羽馬委員

我々は、個人ごと部門ごとに目標管理、年間目標を半年ごとに設定し、自己評価して、また上が評価している。初年度、2年度と重ねていくうちに中身が濃くなってきた。そういうことをやられたらどうか。

●門脇機械素材研究所長

数値目標は出していませんが、研究員は技術相談や依頼試験対応、さらに研究も対応しており、その取組を半年に1回評価します。自己評価と、それに対する各セクションの科長、所長の評価については以前からやっています。ただ、個人毎の数値を細かく管理はしていません。

○羽馬委員

我々はそれをお金に換算します。数字目標を出さないと評価がしづらいのです。

目標の中に少なくとも特許1件出すことにしたら、必ず出します。出すためには一生懸命、勉強するのです。過去に事例がなかったか全部検索すれば、それだけで勉強になります。40人いれば、40件の特許出願は当然だろうと思うのです。本当に特許を出すのは簡単なのです。

●野口食品開発研究所長

特許を出すのは簡単だと思うのですが、多分、費用対効果とかいろいろあると思います。その辺で、出せるときと出せないときが出てくるのかなという感じがするのですが。

○羽馬委員

出そうとしなければ出ない。出す前からハードルをつくったら、絶対出ません。

【技術相談のデータベース化について】

○辻 委員

(技術相談件数が)一研究所で2~3千件で、足すと1万件ぐらいになる。10年で10万件の相談になる。先ほど企業名は機密だとかいうことがあったが、深刻な技術ニーズなどではなく、簡単な質問

に対する答えなどをデータベース化すれば、相談件数が減るのではないか。そうすれば効率化でき、研究員の時間的な余裕が増えるのではないか。

●門脇機械素材研究所長

企業からの質問に対して、どう回答し、どういう成果があったかを残しておかないといけない。人に依存するところが多く、その人が退職してしまうとセンターには残らない状況が続いていた。そのためにデータベースをつくったので、データをうまく活かせるようにしたい。

○辻 委員

ぜひ、来る前に自分で解決できることはしてほしい。

●門脇機械素材研究所長

ただ、全体のレベルを上げていただくというところも企業によってはあるので、そこはいろんな対応の仕方をしなければいけない。

【評価の仕方について】

○安田委員

ものづくり人材育成、25ページに、講習会を4回開催し、技術者の育成は目標10名に対して延べ37人、370%目標を上回ることができたとあるが、同じ人が受けているのか。

●小谷電子・有機素材研究所長

ダブルカウントはしていない。第1期から、同じ人の場合、1名としてカウントしている。

○安田委員

職員表彰制度で、資料編の60、61ページに、評価の根拠として、「電力使用量の削減に尽力、販路拡大に大きく貢献」とあるが、具体的にどの程度削減したのか、表彰の基準を明確にしていきたい。

34ページに「外部資金の獲得実績が6件、年度目標に対して300%」とあるが、件数ではなく、受託金額の対比について評価するべきではないか。

○羽馬委員

6件で300%であれば、今年はさらに7件とか高いハードルになっているのですか。

●村江産業技術センター理事長

件数はありますが、金額の目標はないです。

●門脇機械素材研究所長

4年間で何件という目標を、4で割って1年間の目標にしている。

○安田委員

大学では、法人化で各教授にノルマが与えられ、自分の研究に関しては自前で資金を獲得するというのを大学も始めているようなので、参考にされた方がいいと思います。

【経費削減等について】

○成瀬委員

依頼試験等の収入と保守・修理代のバランスが悪いような気がする。修理や保守についても相談されて、値切られることもされてはどうか。

●村江産業技術センター理事長

今後、修繕も出てくると思いますので、十分意識したい。

○成瀬委員

先日、成分分析をお願いしたら、(料金は)いいですと言われたことがありました。基本、企業は儲けようと思って相談しているので、特許に関係なくても、幾らか料金を徴収してもいいと思います。

県内企業の製造する食品に関して、中身はすばらしいかもしれませんが、パッケージの見せ方が余り魅力的ではないという感じがします。最近トータルで支援という言葉が出てくるが、最初から売れる商品を作ろうという気持ちで、最後の売れるところまで面倒を見ていただけたらありがたいと思います。

**第24回地方独立行政法人鳥取県産業技術センター評価委員会
出席者名簿**

【委員】

区分	氏名	所属名	役職名	備考
委員長	本名 俊正	国立大学法人鳥取大学	学長顧問	
委員	辻 智子	日本水産株式会社	生活機能科学研究所長	
委員	成瀬 以久	株式会社稲田本店	代表取締役	
委員	羽馬 好幸	気高電機株式会社	代表取締役社長	
委員	安田 晴雄	安田精工株式会社	代表取締役社長	

【地方独立行政法人鳥取県産業技術センター】

氏名	役職名	備考
村江 清志	理事長	
向井 保	理事	
山下 喜夫	企画総務部長	
小谷 章二	電子・有機素材研究所長	
門脇 互	機械素材研究所長	
野口 誠	食品開発研究所長	
山田 強	企画室長	
蔵内 康雄	総務室長補佐	
山本 仁志	企画室長補佐	
吉田 裕亮	企画室企画員	

【事務局（鳥取県）】

氏名	役職名	備考
岡村 整裕	商工労働部長	
網濱 基	商工労働部経済産業総室長	
森本 浩之	商工労働部経済産業総室産業振興室長	
前田 いづみ	商工労働部経済産業総室産業振興室課長補佐	
田中 之康	商工労働部経済産業総室産業振興室課長補佐	